

学校評価についての報告

校長 佐藤 幸穂

1 学校関係者評価委員の構成及び主な活動

評価委員の構成

- 石井 逸代 (石神井西小学校応援団団長)
- 田中 義和 (関町町会会長)
- 中島 知子 (石神井西地区青少年委員)
- 橋本 幸枝 (22年度本校PTA会長)
- 室井多美子 (21年度本校PTA会長)
- 山田貴美子 (青少年育成関地区委員会副会長)

主な活動

開催日時	会場	協議内容等
平成22年 7月 2日	石神井西小学校 応接室	学校経営方針・経営計画の説明、学校評価についての質疑・応答
平成22年12月15日	石神井西小学校 応接室	学校公開での授業や行事等での児童の様子について 学力調査、新スポーツテストの結果について
平成23年 3月 2日	石神井西小学校 応接室	学校評価アンケート(自己評価)をもとに関係者評価の実施

2 自己評価の結果(保護者、児童、教員のアンケート結果)

経営計画の重点目標について、保護者、児童(5,6年生)、教員の三者にアンケートを実施し、比較検討する。4段階評定では平均値を評価の目安とする。また、4段階評価で「4」と「3」の割合の合計を指標化して、A～Dで示した。「分からない、無記入」の割合が大きくなると、指標が低くなり、平均値との整合性がとれない場合もある。

【アンケートの評定】 4...そう思う 3...比較的そう思う 2...あまりそう思わない 1... そう思わない	【指標】 A...85%以上が3以上の(肯定的)評価 B...85%未満70%以上が3以上の(肯定的)評価 C...70%未満55%以上が3以上の(肯定的)評価 D...55%未満が3以上の(肯定的)評価
--	---

経営目標	重点項目	アンケートの内容	4	3	2	1	分からない、 無記入 (%)	平均値	指標	
			(%)	(%)	(%)	(%)				
学力向上 基礎基本の定着や主体的に学ぶ力を育成する	授業全般	保護者	全体的に見て、授業はわかりやすいものになっていますか。	39.2	44.7	4.5	0.0	11.6	3.4	B
		児童	授業は、わかりやすく楽しいですか。	57.5	32.1	3.8	3.8	2.8	3.5	A
		教員	教科の指導で、児童によく分かる授業を心がけていますか。	50.0	43.8	6.2	0.0	0.0	3.4	A

学力向上	指導の工夫	保護者	児童が主体的に考えたり、活動したりするなど、授業の工夫が行われていると思いますか。	33.2	44.2	9.0	0.0	13.6	3.3	B
		教員	問題解決的な学習や体験的な学習を実践するなど、指導の工夫改善を行っていますか。	31.3	62.5	6.2	0.0	0.0	3.3	A
基礎基本の定着や主体的に学ぶ力を育成する	指導法の改善	保護者	TT(チームティーチング)や少人数指導による授業は、児童の意欲を引き出し、学力の定着に役立っていると思いますか。	25.6	39.7	10.6	2.0	22.1	3.1	D
		児童	いろいろな先生が協力して教える授業や少ない人数で受ける授業は、分かりやすいですか。	33.0	42.5	13.2	4.7	6.6	3.1	B
		教員	TT(チームティーチング)や少人数指導は、児童の意欲を引き出し、基礎基本	43.8	25.0	12.5	0.0	18.7	3.4	C
	教育機器の活用	保護者	学校では、コンピュータや視聴覚機器などの教材・教具を積極的に活用していると思いますか。	12.6	26.1	14.1	1.0	46.2	2.9	D
		児童	授業でパソコンやビデオ、CDなどを使って学習する機会はありますか。	67.9	16.1	9.4	2.8	3.8	3.5	B
		教員	授業では、コンピュータや視聴覚機器などの教材・教具などの適切な活用を図っていますか。	18.7	37.5	43.8	0.0	0.0	2.8	C
豊かな人間性	児童の人間関係	保護者	学校ではいじめや仲間はずれがなく、児童どうしが楽しそうに遊んだり、勉強したりしていると思いますか。	24.1	50.3	8.0	1.0	16.2	3.2	B
		児童	学校では、いじめや不登校などに適切に対応していると思いますか。	13.6	15.6	8.0	2.0	60.8	3.0	D
		教員	いじめや仲間はずれをひたりにないで、児童どうし仲良く生活していますか。	70.7	14.1	1.0	1.9	12.3	3.8	B
	生活習慣・規範意識	保護者	児童の間には、いじめ等がなく、仲良く遊んだり勉強したりしていますか。	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0	3.4	A
保護者		学校は、挨拶やさまりを守ることで、集団生活をする上での基本的な生活習慣が身につくよう指導していると思いますか。	39.7	45.7	8.0	0.5	6.0	3.3	A	
児童		あいさつをしたり、学校のきまりを守ろうとしていますか。	50.9	39.6	3.8	1.9	3.8	3.5	A	
教員		あいさつやさまりを守ることで、基本的な生活習慣が身につくよう指導に力	56.3	37.5	6.2	0.0	0.0	3.5	A	
道徳の指導	保護者	学校は、豊かな心をはぐむために、道徳の指導に力を入れていると思いますか。	29.1	44.7	7.0	0.0	19.1	3.3	C	
	児童	道徳の授業は、心に残っていますか。	18.9	57.5	11.3	1.0	11.3	3.1	B	
	教員	道徳の時間を大切に、道徳の指導に力を入れていますか。	18.7	43.8	25.0	0.0	0.0	2.9	C	
生命を尊重し、互いに認めあえる豊かな心を育て、よりよい人間関係ができるようにする	道徳の指導	保護者	学校は、豊かな心をはぐむために、道徳の指導に力を入れていると思いますか。	29.1	44.7	7.0	0.0	19.1	3.3	C
		児童	道徳の授業は、心に残っていますか。	18.9	57.5	11.3	1.0	11.3	3.1	B
		教員	道徳の時間を大切に、道徳の指導に力を入れていますか。	18.7	43.8	25.0	0.0	0.0	2.9	C
		保護者	学校は、豊かな心をはぐむために、道徳の指導に力を入れていると思いますか。	29.1	44.7	7.0	0.0	19.1	3.3	C

健康教育 健康的に生活を送る力を育成する	健康教育	保護者	学校は、体力づくりなど健康や安全に関心をもって行動できるように指導していると思いますか。	38.2	47.2	6.5	0.0	8.0	3.3	A
		児童	けがや病気をしないよう気をつけて生活していますか。	45.3	29.2	9.5	8.5	7.5	3.2	B
		教員	体力の向上、健康の保持促進や安全等について、適切な指導を行っていますか。	37.5	43.8	18.7	0.0	0.0	3.2	B
特色ある教育活動 「ひと・もの・こと」とのかかわりを軸とした教育活動の推進する	特色ある教育	保護者	学校では、伝統ある行事や特色ある教育活動が行われていると思いますか。	30.7	44.2	12.1	1.0	12.1	3.2	B
		児童	学校には自慢したい行事や楽しい活動がありますか。	53.8	22.7	7.5	6.6	9.4	3.4	B
		教員	伝統ある行事や特色ある教育活動が行われていますか。	18.7	43.8	31.3	0.0	6.2	2.9	C
	縦割り活動	保護者	学校では、学級活動や児童会の活動、学校行事に多くの児童が楽しく、積極的に参加していると思いますか。	56.3	36.2	1.0	0.0	6.5	3.6	A
		児童	学級活動やクラブ、委員会、学校行事に進んで取り組んでいますか。	50.9	36.8	7.5	1.0	3.8	3.4	A
		教員	学級活動や児童会活動が活発に行われるよう努力していますか。	31.2	56.3	12.5	0.0	0.0	3.2	A
開かれた学校づくり 地域と連携した教育活動の推進する	方針の周知徹底	保護者	学校は、学校教育目標や学校教育方針をわかりやすく伝えていていると思いますか。	33.7	51.1	10.6	0.0	4.0	3.2	B
		教員	学校の教育目標や学校経営方針、経営計画を教育活動に生かしていますか。	18.8	75.0	0.0	6.2	0.0	3.1	A
	保護者との連携	保護者	学校は、家庭との連絡等、意思の疎通を図るよう努力するとともに、保護者がいつでも相談できる体制ができていますか。	39.2	40.2	9.5	3.5	7.5	3.2	B
		教員	家庭との連絡等、意思の疎通を図るよう努力するとともに、保護者がいつでも相談できる体制ができていますか。	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	3.0	B
	地域との連携	保護者	学校は、地域の活動に協力的であり、また必要に応じて地域の意見や要望を取り入れる体制ができていますか。	25.1	46.2	6.5	0.0	22.1	3.2	B
		教員	学校は、地域の活動に協力的であり、また必要に応じて地域の意見や要望を取り入れる体制ができていますか。	25.0	56.3	6.2	0.0	12.5	3.2	B
	学校の公開	保護者	保護者会や授業参観など、学校を公開するための努力をしていますか。	60.3	35.7	3.0	0.0	1.0	3.6	A
		教員	保護者会や授業参観など、学校を公開する意義を理解し、そのための努力をしていますか。	37.5	50.0	12.5	0.0	0.0	3.3	A

3 学校関係者評価

(1) 第1回学校評価(12 / 15)

東京都学力調査(第4学年対象 22年1月実施)の結果をもとに

- ・ 国語の「読む力」「書く力」の基礎、基本は定着している。言語事項で、漢字の読み、書きの力が、都や区のレベルより若干下回っているため、繰り返しの練習などが必要である。
- ・ 低・中学年では、音読カード等を活用し、家庭学習の習慣化を図っているのは効果的である。
- ・ 算数は、各領域、観点で都や区の水準よりも高く、良好といえる。日常の小テスト等による繰り返しの指導や個に応じた指導、分かる授業の工夫の結果と考えられる。

生活実態、生活リズムの調査結果をもとに

- ・ 同様の調査を毎年行っており、過去のデータと比較できるのがよい。10年前と比べ、夜更かしをする児童は少なく、テレビやゲームの時間も時間も短くなっていることが分かる。「早寝・早起き・朝ご飯」の呼びかけが浸透し、保護者の意識も高くなっていると思われる。
- ・ 放課後に体を使って遊ぶ子供は少ない。子供の居場所づくりである「ひろば」の役割は大きい。11月ふれあい月間での児童の生活実態・意識調査(いじめ、交友関係等)をもとに
- ・ アンケートからは、友達との人間関係も良好で、それぞれに居場所があり、学校生活に満足している様子がわかる。実際に、いじめ等の問題はないのか。(質問) いじめが表面化しない「見えないいじめ」にどう気づくかが大切である。
- ・ 「困ったとき、だれに相談するか」の設問で、「先生に」という回答の割合が低いよう思う。教師と児童の信頼関係が何より大切である。

研究発表会に出席して

- ・ 担任と子供との一体感が感じられた。教師の生き生きとした表情やメリハリが子供の心をとらえ、引っ張る力だと思った。
- ・ 一人一人の子供の発言がよいにつれ、励ましている様子を見ることが出来た。
- ・ 子供がハキハキしている。子供の自主性を伸ばしているように感じた。
- ・ 黒板の字が小さく、見えにくい学級もあった。視覚に訴える板書の工夫も必要である。

(2) 第2回学校評価

【学力向上について】

- ・ 「分かる授業」の設問に対しては、保護者、児童、教員の4段階評価の平均値は、3.4以上と高く、日々の授業を大切にして、わかりやすい授業を行っているといえる。授業の工夫についても評価されている。
- ・ 「学習の目当てが明確になっているか」は、学校公開での保護者アンケートの4段階評価でも、3.7(10/28)、3.8(2/18)と、極めて高い。授業のめあてを児童自身もはっきりと把握していることが、学習への意欲、集中力につながる。
- ・ 返事や話の聞き方などの学習規律の面でも良好である。低学年のうちからきちんと指導され、定着しつつある。
- ・ IT、少人数指導等の指導法の改善については、学年で指導内容や指導法の共通理解を図り、個に応じた指導の充実が課題である。
- ・ 「コンピュータ等の教育機器の活用」については、保護者アンケートでは、約46%が「分からない」と回答しているため、指標も「D」となっている。一方、児童はパソコンを使って調べ学習をしたり、いろいろなカードを作成する機会も多く、約70%が「コンピュータ等を使って学習する機会が多い」と答えている。

【豊かな心の育成】

- ・ 児童の人間関係の面では、アンケート結果を見る限り、保護者も児童も教員も昨年度よりも平均値の数値が高くなっている。(保護者 3.0から3.2 児童 3.6から3.8 教員 2.9から3.4) 児童の生活意識調査からも全体的に見て児童同士の間人間関係が良好で、楽しい学校生活を過ごしている様子がうかがえる。
- ・ いじめ、不登校については、学校として早期発見、対応に努力し、問題が深刻化する前に解決できたと考えている。一方、保護者にとっては、いじめや不登校は関心の高い問題であるが、直接関係していない場合、対応等は見えにくく、「分からない」が6割に及んでいる。
- ・ 基本的な生活習慣や規範意識の面では、保護者、児童、教員とも指標は「A」である。学校生活の約束や話の聞き方などは、かなりよくできている。学校や家庭でも意識して指導し、児童自身の実践力も高まっているといえる。しかし、あいさつの励行の面では、問題点が指摘されている。
- ・ 道徳の時間を初め、道徳教育の充実に力を入れているが、心に響く道徳教育にするために工夫・改善が必要である。

【健康な生活】

- ・ 健康や安全についての保護者の意識は極めて高い。生活リズムや生活実態調査でも、10年前の同じ調査と比較し、就寝・起床時刻が早くなっている。特に高学年の夜更かしは大幅に減少している。このことから、「早寝・早起き・朝ご飯」等の基本的な生活習慣が定着してきているといえる。
- ・ スポーツテストの結果では、高学年のレベルが高くなっている。中学年は、全国平均を下回っている種目が多い。
- ・ 食育教育の面では、朝食を摂ってこない児童はごくわずかであるが、栄養のバランスに欠ける点が気になる。給食では、食べ終わるのに時間のかかる児童、食べ物の好き嫌いをする児童が少なからずいる。

【開かれた学校づくり】

- ・ 経営方針等の周知徹底では、指標Aには届かないが約85%が肯定的評価をしていることから、説明責任は果たしているといえるが、約10%の保護者は不十分と考えている。
- ・ 保護者や地域との連携では、保護者も教師も概ね満足しているといえる。しかし、保護者会や個人面談での意見や要望が反映されていないことの指摘もある。
- ・ 学校の公開では、保護者、教員の平均値も指標も高く、学校の公開の努力が保護者に評価されているものと言える。

【意見・感想等】

- ・ 日々の授業を大切に、分かる授業、楽しい授業に努めていることがアンケートの結果からも分かる。
- ・ 道徳の指導について、保護者アンケートでは指標が「C」になっている。道徳地区公開講座も含め、関心や理解を深めてもらうことも必要である。
- ・ 「いじめ」は、保護者には直接関係ない情報が入ってこないようである。日ごろから、担任と保護者、学校とPTAなどとの意思疎が大切である。
- ・ 近くで、若者の自殺があった。「死」を簡単に選択する。子供たちの意識の中から「怖い」「傷つく」というような感覚が希薄になっているのではないかと思う。「命の重み、大切さ」をどのように実感させていくか、大きな課題である。
- ・ 学校、学級で気持ちが安定していなければ、学習や生活がきちんとできない。学級の中での相互信頼や満足感が大きなウェイトを占める。
- ・ 少人数指導では、教師間の連携が大切である。教え方や取り扱う内容を共通にしてほしい。
- ・ それぞれの担任のよさや特性を生かしながらも、学習の進度や宿題の出し方など、共通にしてほしい。
- ・ 展覧会での作品は、それぞれ個性があつてよかった。参加型の造形活動もよかったし、その取組に縦割り活動が生かされているの石西小のよさである。
- ・ 特別支援学級の作品も見応えがあつた。よく指導されていると感じた。
- ・ 担任がよく外遊びをするので、あまりみんなで遊ぶことが好きでない子も、外遊びをしているようで嬉しい。担任の影響は大きい。
- ・ 前回の評議員会でも話題になったが、あいさつが出来ない。高学年ほどその傾向があるようだ。職場に実習生が来るが、あいさつが出来ない子は何もできない。あいさつは社会生活の基本。学校でも家庭でもしっかり指導していきたい。

4 改善事項

研究の成果である「かかわりあい」や「学び合い」は、国語に限らず、各教科や領域に広げていく。学習のめあて、黒板や教育機器の活用などの授業改善に努める。

今後とも基礎基本の定着に努め、確かな学力の向上を図る。そのために繰り返しの学習や、音読カードや日記、読書、計算などの宿題を課す等、家庭との連携で基礎基本の定着を図る。

ノートや作品等をよく見とり、励ましや賞賛等のコメントを付けるな、のきめ細かい丁寧な指導を行う。道徳の時間を要としながら、心に響く道徳教育の充実を図り、豊かな心を培う。

学級による取組の差をなくし、学年での同一歩調を大切にす。また、少人数指導では、内容や進度の共通理解を図る。なお、個に応じたきめ細かい指導を行うため、習熟度別の学習を拡大する。

総合的な学習等での体験活動やゲストティーチャーを招いた授業は、次になった学年も実施するよう引き継ぎ、全体計画にも位置づける。

話を聞く態度などの学習規律は確立されてきている。全校の共通理解、一致した指導のもとで、廊下の歩行や清掃などの生活指導の充実を図る。

あいさつがしっかりできるよう、家庭とも連携し年間を通して取り組む。

健康な体、体力の向上も課題である。低学年から体を使って遊ぶなど、運動に親しむようにさせる。教師と一緒に遊ぶ機会をつくるなどして、外遊び、クラス遊びを意図的に計画する。